

中学校1年生 美術 表現「心安らぐ私の風景」(教科書P.12～P.13, P.49～P.53)

1年 ()組 氏名 ()

目標：絵具の性質を捉えて、意図に応じて工夫して表現することができる。

ステップ1：学習の進め方を確認しよう

- ・教科書P13「夏の日の庭」を見て、作者の意図や工夫に気付いて表現について考えよう。(①)
- ・どんな「心安らぐ風景」があるか、身の回りを見つめて主題を生み出そう。(②③)
- ・「心やすらぐ私の風景」をテーマに鉛筆、ボールペン、絵の具、色鉛筆等を使って描きましょう。(④)
- ・作品の意図したことや工夫したことについて記入しよう。(⑤)

ステップ2：自分でやってみよう

① 「夏の日の庭」を見て、作者の意図や工夫について考えよう。

「点描」はどんな表情を表現するときに活用できそうか、いくつか考えてみましょう。

【配色】

【彩色】

【構図】

【作者の「技」発見！】
点描：線を用いず、点または点に近い短い筆触で表現する技法。
※〈部分拡大〉

【彩色】(例)
点描：複数の緑色を使って点描で表現することで葉の重なりと立体感を表現している

② 自分の身の回りをみてどんな「心安らぐ私の風景」があるか探してみよう。(写真を撮るのも可)

風景	理由	主役となるもの	特に強調するもの	強調するための表現方法

(例)

風景	理由	主役となるもの	特に強調するもの	強調するための表現方法
家の前から西を眺めた風景	ここから夕焼けの空を見て家に帰るから。特に秋は変化があつてきれいだ。	夕焼けの空	空	家並みと電線は同じ暗い色で統一する、美しい空にみえる配色。

- ④ 別紙に「心安らぐ私の風景」をテーマに描きましょう。
 ⑤ 絵具の特性を生かし、意図に応じて工夫した点を記入しましょう。

ステップ3：学びを生かして挑戦してみよう！

- 教科書P.52～P.53の【様々な技法で描く】を読み、身近な道具を使って偶然できる形や色を作つてみよう。
- 体験した技法を組み合わせて作品の表現に取り入れてみよう。

自己評価をしましょう

この自己評価は皆さん自分が自分の学びを振り返るためのもの、皆さんの理解度や疑問を知るためにもので先生の評価とは関係ありません。

課題①④⑤ 自分自身で絵具の性質や質感を捉えることができましたか。

十分に	まずまず	自信がないが	できなかつた
できた。	できた。	なんとかできた。	

課題②③ 身近なところから「心ひかれるものを」見つけ意図に応じて工夫できましたか。

十分に	まずまず	自信がないが	できなかつた
できた。	できた。	なんとかできた。	

学習を終えて、わからないこと、疑問に思うことがあれば書き出しておこう。



(別紙) 課題②: 表現 (例)

電線や家と空の対比が美しいと思う。



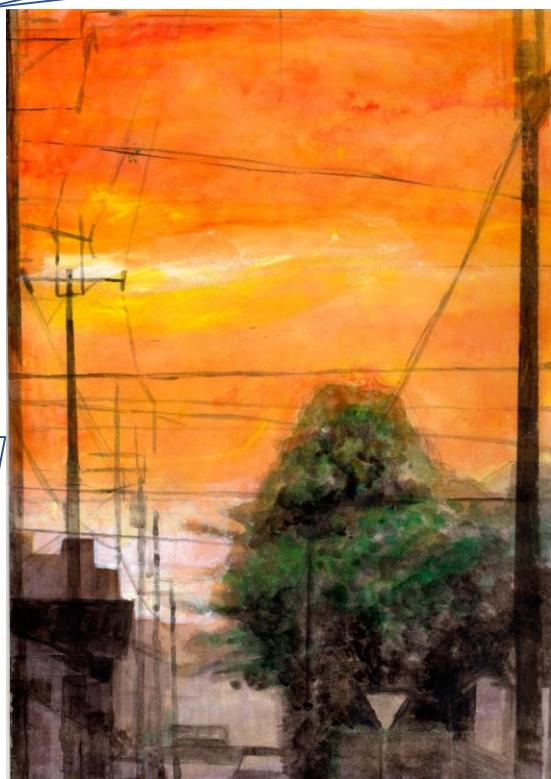
【構図】

主役が美しくおさまるようにしましょう。見えた通り全て書く必要もありません。あくまでも主役を引き立てるなどを大切にして省けるところは省きます。

主役が最も収まりの良いトリミングをしましょう。



電線はあった方が町の雰囲気がでる。



【彩色ポイント①】

- 表現するのに効果的な技法はありますか教科書 P50~53 を確認しよう。
- 形を強調する場所は丁寧に塗りましょう。
- 色鉛筆やペンを使った方が効果的であれば併用してもかまいません。

必要のないところは省く。

形通りよりも特徴が大事！



【彩色ポイント②】

- 全てたくさん塗り重ねる必要はありません。大切なと思われる部分がどうしたら美しく、強く見えるかが大切です。
- 濃淡を水の量で調節すると自然な色あいができます。
- 白色は極力使わず、薄い色を表現するときは水の量を多くすると紙の白が生かされて淡く自然な色に仕上がります。

【下書き】

全てを描こうと思わずこの絵の大切なところがどこかを考え、しっかりと描くところとそうでないところを決めてから下書きをしましょう。

コメントの追加 [k1]: 放映されるテレビの映像を基に作成しています。